

令和2年12月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和2年12月21日（金）13時～13時30分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、置賜日報、NHK、YTS

<市> 市長、秘書広報課長、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 知事選の投開票（1月24日）まで1か月余りとなりました。11月の定例会見では支援する候補について、「ローカルマニフェストを見て判断する」とおっしゃいましたが、現時点でどの候補を支援するか決めていますか。
- (2) コロナ禍に見舞われた2020年最後の定例会見ですが、今年を振り返った際、市長ご自身にとって「印象深いこと」「しっかり取り組んで成果を上げられたこと」「今年やり残した来年への課題」について教えてください。
- (3) 今後の厳しい財政運営についての所感をお聞かせください。
- (4) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和2年度12月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

はい。ご苦労様です。12月の定例記者会見、質問項目は3項目ございました。まず1点目の、先月もご質問いただきました知事選の対応についてであります。先月は、ローカルマニフェストを見て判断するというお話をさせていただきました。両候補予定者のマニフェストを拝見させていただきまして、その結果、米沢をどうしていくのか、あるいは置賜全体をどうしていくのかということにつきましては、かわりはありませんでした。特に11月の記者会見で申し上げました、工業技術センターの置賜試験場の移転新築につきましては両候補予定者とも掲載をしておりました。そういった中で政策面においてなかなか判断することは難しいと判断させてい

いただきました。

では何で判断したかということをお先に申し上げますと、私自身の政治行動、政治活動というものは、自民党の国会議員の先生方、あるいはそういった組織の中で共に歩んできたという経過がございます。そういった中で今回の知事選挙を見て、自・公からの推薦をいただいている大内理加さんを支持するのが筋であろうと思っております。そして今、市長会有志の動きとしまして、大内さんを支援するという動きがございます。おそらく今年中にその有志の会が正式に表明すると思っておりますが、その中にも名前を登載させていただきましたので、結論を申し上げますと大内理加さんを支援することにさせていただきたいと思っております。

次に2点目であります。「コロナ禍に見舞われた2020年最後の定例会見ですが、今年を振り返った際、市長ご自身にとって「印象深いこと」「しっかり取り組んで成果を上げられたこと」「今年やり残した来年への課題」について教えてください。」という質問でありました。何よりも今年に入りまして「こんなに雪が少ない冬は無いな」と思ったのが年明けの実感でありました。そしてそれを追いかけるようにして今度はコロナの感染が国内でも話題になってまいりました。しばらくの間、山形県から感染者は出ていなかったのですが、3月31日、県内初の感染者をこの米沢から出したということで、その後においてもクラスター的なものを含めて県内では多くの感染者を出しました。この対応、また感染防止と市民生活、地域経済をどのように回していくかということに追われた1年だったなと思っております。コロナ禍でありましたので色々なイベントも中止をしました。令和2年度の事業運営も中止せざるを得なかったものもあった訳であり、そういうことが非常に残念だという想いととも深く印象に残っているところであります。

そしてもう1点、このコロナ禍に関しまして、ありがたかったなと思っておりますことは、多くの市民の皆様から、マスクをはじめ消毒用のアルコールとか、そういったものを数多くご寄贈いただいたということです。本当にこれは改めて市民の皆様にお礼、感謝を申し上げたいと思っております。何につきましても、コロナで始まりコロナで終わる1年であったのかなと思っております。

こういった中でも、課題であったことにはしっかり取り組んできたと思っております。特に、就任前からの課題でありました、新たな市立病院の建設につきましては、毎回申し上げておりますように医療連携病院ということで、業者が正式に決まったということは、来年度の建設に向けて今準備を進めておりますが、その第一歩だったということが今年が一番大きな、課題を解決した第一歩になったと思っております。また、今年やり残した米沢の課題であります、コロナとはまた別にしましても、色々コロナ禍で浮き彫りにされました、オンラインであったり、テレワークであったり、デジタル化への対応というものについても、今、庁内でその検討を進めております。テレワークの実証実験も始めておりますが、こういったことも来年度にしっかりと取り組んでいかなければならないと思っております。

もう1点嬉しかったなと思うことは、先ほどイベントが中止になったり、そしてコ

コロナ禍で医療関係者に多大なご心労をおかけしているということの中で、イベント中止の代わりとしまして花火を打ち上げたりしましたが、何よりも嬉しかったのは、その後学生さんたちが募金、寄附を集めながら自ら盛大な花火大会を開催していただいたことでした。若い人のそういった想いに感謝をしたいと思います。また、毎回申し上げておりましたが、今も「米沢びしゃもんプロジェクト」のマスクをかけさせていただいておりますが、若い経済人の方々が中心となって、コロナ感染拡大予防と、やはり経済を回していかなければならないという若い人たちの想いに対して、本当にありがたく、心から感謝申し上げたいと思っております。

3点目の「厳しい財政運営への所感」であります。これも前にもお話をさせていただきました。経済的な停滞によって、来年度の税収の見込みが立っておりません。しかし、言われることは、来年の財政運営の見込みを含めて、予算編成も含めまして、大変厳しいものになるだろうと判断をしております。市民生活と地域経済を守ることが最優先になっていくわけでありますので、例えば既存の事業の廃止などの抜本的な見直しも、もしかすると出てくるかもしれません。また、米沢市まちづくり総合計画の第3期実施計画に掲げた施策についても、先送りや事業の縮小なども考えざるを得ない。それに輪をかけまして、財政が非常に厳しいなという状況が予想される中でこの大雪になりました。今後どれだけの降雪があるのか分かりませんが12月の段階でこのような大雪になったということは、おそらく、一冬を通しての除排雪の経費も相当かかってくるのではないかなということが予想されます。そういったものも財政に大分影響を与えてくるのではないかなと思っております。より一層厳しい財政運営が強いられてくるのではないかなと思っておりますので、今後の歳入、特に市税収入がどの程度になっていくのかということ、難しいながらもきちんとした予測を立てながらそして他の歳入につきましてもどうしたら伸ばしていけるのかということも含めて新年度新たな対応が国からも求められております。そういったものもしっかりと対応をすべく、取り組んでまいりたいと今現在思っているところであります。

3項目すべてにお答えをしました。あとはご質問の中で受け答えをしたいと思っております。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上になります。これ以降の進行につきましては幹事社にお渡しをしますので、よろしく願いいたします。

○幹事社

知事選の関係なのですが、両方のマニフェストを見て、米沢、置賜に関しては変わりなかったということですね。

○市長

そんなに変わりはないかなと思います。

○幹事社

その上でなのですが、大内さんを支持されるということですが、どちらがなるにせよ、米沢、置賜に関しては次の知事にはどういったところを特に力を入れてやってい

ただきたいなということはありませんか。

○市長

山形県は4ブロックに分けられておりますが、それぞれ特徴を持った広域的な地域づくりをやっているというように私は理解をしております。その中で置賜全体を考えてみた場合には、1つはものづくりを中心とした地域であると思っております。そういったことが、特に米沢の場合、山大工学部もございますし、工学部との関係の中で色々な事業を起こしていくというまちもある訳であります。そういったものをしっかりと捉えていただいて、置賜地域の全体の物づくりというものにおいて、やはり私は新たな視点での工業技術センターの置賜試験場の在り方というものは大学とも連携しながら考えていくべきであろうという持論を持っておりました。そういったことも含めて置賜全体の、3市5町全体のものづくりについて、より一層の地域づくりをしていかなければならないと思っております。

○幹事社

皆さんから質問ありますでしょうか。

○記者

いくつかお伺いしたいのですが、まず1点は雪灯籠まつりが今のところ開催される予定ということですが、県内の新型コロナ感染状況が日に日に厳しくなっております。開催について市長のお考えはいかがでしょうか。

○市長

今現在米沢市の中で感染拡大という状況には至っていないと。しかしこういうイベントというのは、外からのお客様もおいでになる訳でありますので、今雪灯籠まつり実行委員会で開催について検討している状況とお聞きしております。そういった中でやはり開催していこうというひとつの方向性が示されていると先日もお聞きしたところでした。それで私は、どこまで密になるか、消毒の徹底がどこまでできるかというのは今後実行委員会の対策として考えていかなければならないことですが、先ほど申し上げましたように今年度のイベント的なものはほぼ中止したということで、市民の皆様にとっても、冬の雪灯籠というのはひとつの楽しみとしてお待ちになっているというのもありますし、また外での開催だから大丈夫ではないかという話もあることも事実であります。そういった中で、雪の状況にもよりますが、やはり市民の皆様に雪灯籠を作っていただくということが、コロナ禍の中にあつたとしても、市民の皆様の総参加ということが大事なことだと私は思っておりますので、やるかやらないかということを考えてみた場合、やる方向で是非お願いをしたいと考えております。

○記者

わかりました。先ほどテレワークの実証実験を進めているというお話でしたが、来年新庁舎の運用が始まると思います。その中で、新型コロナが新庁舎運用の時にどうなっているのか分からないですが、新型コロナ対策として新庁舎で決まっている設備等があれば教えてください。

○市長

設計の段階では特段コロナの問題も出ておりませんでしたので、設備等の設計上でのコロナ対策ということはないと思っております。しかし、どういった職場であってもやはり感染防止対策というものについて、その時の状況にもよりますが、まだまだコロナが終息しないという状況の中では、利用される市民の皆様と職員との間にアクリル板とかそういったものを設置しながら、あと何よりも職員がマスクは元よりであります。手指の消毒というようなことを徹底するというので、そういったことが職場内の問題もありますが、もし仮に職員が感染したとしても、利用される市民の皆さんには絶対に感染をさせないという意識を持ってもらうことが新たな庁舎においても重要なことだと思っております。建物そのものにコロナ対策予防というものは考えてこなかったということはありません。

○記者

わかりました。ありがとうございます。

○幹事社

その他いかがでしょうか。

○記者

1点ですが、感染防止について、帰省について言われておりますが、市長から何かメッセージやお考えはありますか。

○市長

特別私からは帰省をしないでくださいとか、今こういった状況の中で対応は考えていません。ただ、今東京の方からどうしてもこちらにおいでにならなければならない方の状況を見聞きしておりますと、大分気を使っているということが見受けられます。この間もちょっとした会合とかご法事があったのですが、東京から来られた方は法要が終わった後の直会も別室でやっていたということですから、一般的に言うところのそういうことにはものすごく気を使っているし、やはりそれぞれ学生として東京に行っている方が米沢に帰ってきたりということもあるでしょうし、それぞれの家庭全部ということは申し上げませんが、今回は遠慮してくれという1つの流れが出ているようです。前回学生さんに対してのメッセージを發しましたが、あのときは米沢も厳しい感染状況があったということで、やはり対応せざるを得なかった。では、今出ていないから何もしなくていいかということではなくて、やはり全体を見通して大分注意喚起は出ているのかなということで、改めて私からメッセージというのは今のところ考えてないという状況であります。

○記者

山形市で今かなり新型コロナ流行ってしまして、新型コロナ対策店でもコロナの感染者が出たという案件もありました。米沢市でもびしゃもんプロジェクトということで、市内飲食店で取り組みされておりますが、そういったところで市長として米沢市内の飲食店で対策強化を呼びかけるとか義務付けるとかそういうお考えはありますでしょうか。

○市長

この件につきましても、中心になっている「米沢びしゃもんプロジェクト」、先ほど申し上げましたが JC（米沢青年会議所）さんとか YEG（米沢商工会議所青年部）さんとか中心になってやっておられまして、この間も YEG のメンバーと懇談する機会がありまして、なおもう 1 回この「米沢びしゃもんプロジェクト」による感染防止について徹底をして活動を進めていただきたいという願いはしてあります。そういったところで、これも決してコロナ慣れしているとか油断しているとかそういうことではないのですが、今後の状況によっては、やはり再び取り組んでそういったメッセージも発していかなければならないのかなと思っております。

○記者

お願いという段階で特に市の方から「こういった規制をかけます」ということは特段考えていないということですね。

○市長

市から規制をかけるというのは状況的に非常に厳しい状況でないと市からの規制というのは難しいと思います。あくまでも基本は国の方針を受けて県がどういう対応をするかということになりますので、規制をかけるということについては、今のところ私は考えていません。

○記者

コロナに関して 1 点だけ質問なのですが、現時点では米沢は緊急的な状況というわけではないと思うのですが、年末年始の市役所がお休みの時に感染が発生した時の対応というか職員の体制について何かお考えはありますか。

○市長

1 つは危機管理ということもありまして、あとはもう 1 つ直接そういった感染者の対応は健康課でしておりますので、そこはしっかりと休日になったとしても、医療との関係もありますので、そこは連携を取りながら対応をしていかなければならないし、そういった方向で今調整をしているという状況でございます。

○幹事社

他によろしいでしょうか。

○秘書広報課長

それではこれもちまして、令和 2 年 12 月の定例記者会見を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

○市長

今年 1 年、どうもありがとうございました。